

## 風疹から子どもを守ろう

### 16日、岡大など公開セミナー

風疹から子どもを守るための公開セミナー「産科スタッフ・保健師のためのワクチンの知識」を16日、岡山大や県産婦人科医会などが開く。主催者は「赤ちゃんを守るため、風疹ワクチンの正しい知識を身につけて下さい」と呼びかける。

風疹は軽症ですむが、妊娠初期の

妊婦が感染すると生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓などに障害が出る「先天性風疹症候群」が起きることがある。岡山では2002年ごろ風疹の流行が起き、13年には全国規模で大流行が起きた。

セミナーでは、子どものワクチンに詳しい中野貴司・川崎医大小児科

教授が、乳児期から接種が始まるワクチンの有効性・安全性などについて話すほか、県の風疹予防策を県健康推進課の担当者が説明。先天性風疹症候群の子どもを育てる家族会の人たちも来場し、自身の体験を語る。

16日午後1時～4時半、岡山市北区鹿田町2丁目、岡山大鹿田キャンパス臨床講義棟第1講義室で。無料。だれでも参加できる。問い合わせは事務局(086・235・6538)へ。

(中村通子)